



もっと詳しく知りたいかたは…

○産業情報支援センター  
(TEL 0897-53-0010 FAX 0897-53-0011 Eメール info@saijo-sics.co.jp)  
サイクスのホームページもご覧ください。  
http://www.saijo-sics.co.jp/

産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今回は、前回に続き当センターの食品コンビナート構想についてお知らせします。

前回は西条の立場からこの構想の可能性と必要性についてお話ししましたが、今回は日本全体から見た食品料産業の有り方について考えます。

日本は戦後工業化政策を推進し、奇跡的な成長を遂げましたが、その結果30年前には70〜80%あった日本の食料自給率は年々低下して、今日では我々の口にする食料の60%を外国に依存する様になっています。

■現在の日本を取り巻く食料事情

現在の日本は、食料自給率の低下に歯止めが掛かりません。農業就業者、耕作面積とも減少を続けている現状を考えると、現在42%といわれている自給率は今後ますます低下することが予想されます。

この様な状況の中、世界の先進国で食料の自給率100%を切っているのは日本と英国の2カ国になっています。その英国も、かつて40%台だった食料自給率は年々改善しており、現在は80%になっています。

日本を始めとする先進国の多くは、人口の減少が続くと予測されていますが、地球規模で見ると年間9000万人のペースで増え続け、近い将来

来に世界人口は64億人を超えます。人口の増加と世界経済の発展に伴い食料の消費量は拡大を続けており、既に世界の食糧の需給バランスは崩れつつあるのが現状です。今後は食糧の確保が深刻な人類生存のテーマとなります。

食料を輸入に頼っていると食料の相場や品質、為替、災害、戦争、外貨の獲得等の状況によって供給量や価格が左右されます。つまり現在安価に輸入されている食料も、供給元の都合によって需要量が確保できなくなる可能性があるのです。国家の重要な戦略物資である食料を輸入に頼っている現状を早期に改善する必要があります。

地域産業はいまだに厳しい経済状況にあり、従来の取り組みでは解決しません。これからは一次産業の活性化と、地域の特色を生かした食品産業界への取り組みを地域が主体となって推進することが必要です。

■サイクスの取り組み

サイクスではこれらの現状を考え、食品や一次産業の改善をめざして、MH冷凍技術による環境保全に対応する食料の総合供給を行う食品コンビナート構想を提唱します。

この構想のように、食料を安全で効率的に供給するシステムモデルを西条で成功させることによって、全国各地で同じ様な取り組みを行うことが可能になります。そこを拠点に、食料を核に一次産業が活性化する地域環境産業モデルを創る夢を描いています。

現在、この夢を実現化するために関係各機関の協力のもと、MH冷凍技術を活用した食品の調査研究を続けています。さらに農林水産省が公募する「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」に応募しています。

この計画ではMH冷凍技術を活用して、国・県・市と大学、地元企業が連携して食品産業の振興と一次産業の活性化を図ることを目的に研究開発を行います。この事業の審査結果は3月に出版しますが、市民の皆様が良い結果をお伝えすることができるとを願っています。

インキュベータ室の入居者を募集します

入居資格等

次に該当する個人、団体または企業

○技術、人材その他の産業資源を活用し、事業化に取り組みうとするもの

○新たな事業分野へ進出、または研究開発に取り組みうとするもの

○インキュベータ室入居企業が行う研究開発や事業活動を支援するもの

入居の期間

4年以内。ただし市長が特に必要と認めた場合は、期間を延長することができます。

募集するインキュベータ室

第6インキュベータ室 (3階 36㎡)

月額使用料

○室料 1万6600円

○共益費 2000円

その他必要な経費

○保証金 室料の2カ月分

○駐車場使用料(1台限度) 月額2000円

○電気、電話使用料 実費

申込期限 3月31日(木)

問合せ

商工振興課産業情報係(TEL 0897-53-0010)

水と食セミナーを開催

日時 3月20日(日)

15時〜17時

場所 ひうち会館

演題 おいしいコーヒー

のまち西条をめざして